

2. 火山の概況 (平成15年10月2日 ~ 平成15年10月8日)

樽前山では山頂部浅部の熱的な活動がやや活発であった。浅間山では地震がやや多い状態が続いた。三宅島では噴煙活動が継続した。阿蘇山では中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発であった。桜島、諏訪之瀬島では噴火が発生した。

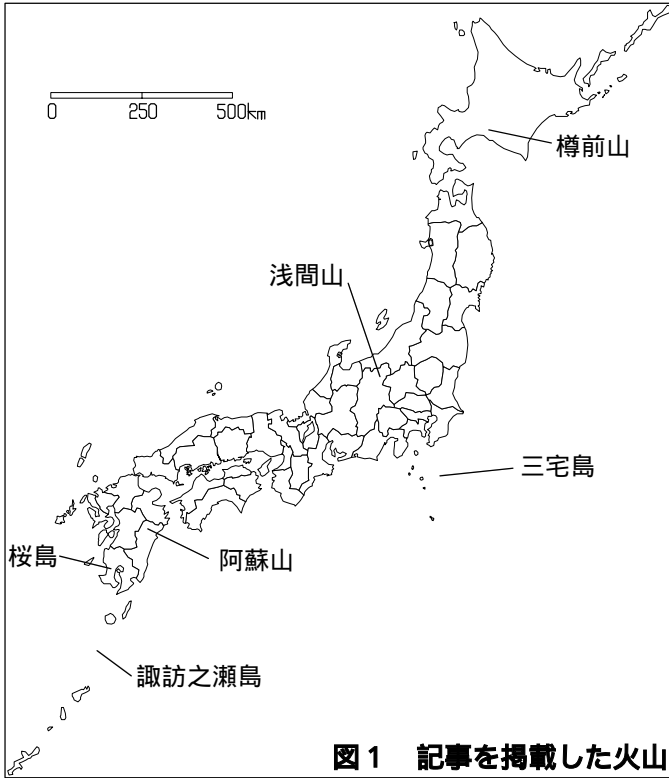


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	樽前山	浅間山	富士山	伊豆大島	三宅島	阿蘇山	桜島	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
41	10/ 2-10/ 8									
40	9/25-10/ 1									
39	9/18- 9/24									
38	9/11- 9/17									
37	9/ 4- 9/10									

注1 記号の意味

- ：噴火した火山
- ：観測データ等に变化があった火山
- ：前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

樽前山 [熱]

5日及び7～8日の夜間に、高感度カメラでドーム南西噴気孔群（B噴気孔群）が明るく見える現象を観測した（7月6日以来）。この現象は5日夜が最も顕著で、その後は徐々に弱まる傾向にある。

7～8日に実施した調査観測では、B噴気孔群の最高温度が506（前回（5月16～21日（以下同じ））は400）、A火口の最高温度が647（前回は524）と、それぞれ約100の温度上昇を確認した。調査時にはB噴気孔群では硫黄燃焼等が見られたほか、噴気孔群付近には砂状の噴出物が数cmの厚さに堆積していた。同様の現象は昨年4月にも確認されている。

なお、地震活動及び地殻変動には異常な変化はなかった。

浅間山 [地震・微動・熱]

6月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間もやや多い状態が続いており、1日当たり49～89回観測された。また、振幅の小さい微動は8日に1回観測された（前期間は2回）。

噴煙の状況は山頂部が雲に覆われて観測できない日が多かったが、4日には白色噴煙が火口縁上300mまで上がっているのが、山麓の監視カメラで観測された。

群馬県林務部設置の赤外カメラでは、火口底で引き続き高温部が観測された。

三宅島 [地震・空振・噴煙]

3日02時19分頃、ごく弱い空振を伴う低周波地震が観測された。低周波地震が観測されたのは7月22日以来であった。この地震と空振に伴い、噴煙活動等その他の火山活動に変化はみられなかった。一方、振幅の小さいやや低周波の地震の回数は、1日あたり3～34回と落ち着いた状態で推移した。

監視カメラによる観測では、白色噴煙が最高で火口縁上 500mまで上がった。
GPS による地殻変動観測では、三宅島の収縮を示していた地殻変動は収まっている。

阿蘇山 [熱・地震・微動]

中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発で、孤立型微動と地震がやや多い状態で推移した。

中岳第一火口内の状況は、3日に実施した現地観測によると、湯だまりの色は緑色で、茶色の浮遊物があり、中央部で噴湯現象が継続していた。湯量はほぼ8割であったが減少傾向が続いている。湯だまり表面の温度は76と依然高い状態が続いている(前期間は81)。南側火口壁の温度も401と高い状態であった(前期間は386)。

噴煙の状況は、少量の白色噴煙が連続的に噴出しており、最高は火口縁上600mであった(前期間の最高は火口縁上300m)。

孤立型微動は、今期間の合計が1,419回で、前期間(1,857回)と比べて減少した。B型地震は527回と前期間(402回)より増加した。A型地震の回数、地殻変動等の観測データには特に変化はなかった。

桜島 [噴煙]

噴火が1回発生し、火山灰を含む灰白色の噴煙が火口縁上1,000mまで上がった(前期間の最高は火口縁上1,800m)。なお、この噴火は爆発ではなかった(前期間は噴火4回、うち爆発2回)。鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)では、降灰は観測されなかった(前期間もなし)。

諏訪之瀬島 [爆発・噴煙・空振・微動]

2~4日にかけて噴火が計7回発生した。監視カメラによる観測では、火山灰を含む灰白色の噴煙が上がり、噴煙の高さの最高は火口縁上700mであった。7回の噴火のうち爆発は3回で、いずれも3日の18時20~30分の間(22分、24分、29分)に発生した。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、

3日の爆発に伴い発生した空振により、島内の集落(御岳の南南西約4km)で^{ふすま}襖が「カタカタ」と揺れるのが確認された。降灰は確認されなかった。また、噴火活動の活発化を示す連続的な微動が2~3日にかけて発生した。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第546号 (1日2回発表)	2日 09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	火山観測情報第559号	8日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第20号	3日 11:40	火山活動がやや活発(孤立型微動・地震が引き続き多い状態)。